

平成28年度行政評価 施策評価シート (平成27年度実績)

施策名 地域で支え合う福祉の促進

施策コード 030101

1. 施策の担当	
主管課	健康福祉部 障害福祉総務課
関係課	

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第3章 やさしさとふれあいのあるまちづくり (安心・健康)	節 第1節 地域福祉
	施策	地域で支え合う福祉の促進	

基本方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・小地域ネットワーク活動を基盤に、暮らしの安心につながる地域で支え合う仕組み (地域福祉セーフティネット) の構築に努めます。 ・地域福祉情報を提供するなど情報の発信に努めるとともに、地域住民・各種団体の交流を促進し、市民の福祉意識の醸成に努めます。 ・地域福祉の担い手となるボランティア団体・NPO法人などの育成や指導者の養成を図ります。 ・地域福祉を推進する拠点づくりに努めます。 	

現況と課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・小地域ネットワーク活動については、すべての小学校区でネットワーク化されていますが、高齢者を対象にスタートした経過があることやボランティアの人数のことなどの課題がありますが、障害のある人及びひとり親家庭などの要援護者への広がりが求められています。 ・小地域ネットワーク活動を基盤に各種機関及び団体等との連携強化を図り、地域福祉セーフティネットの構築が求められています。 ・社会福祉協議会をはじめ、各種団体からの情報の発信が求められています。 ・市と社会福祉協議会をはじめ、各種団体との協働の推進、活動の支援が求められています。 ・ボランティア団体・NPO法人などの育成、市民の福祉意識の醸成が求められています。 	

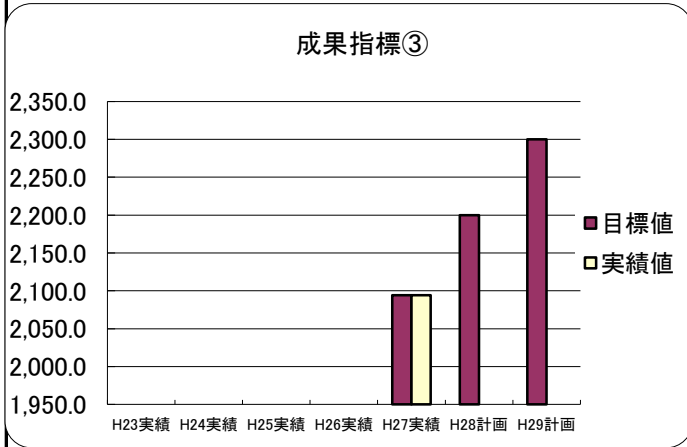
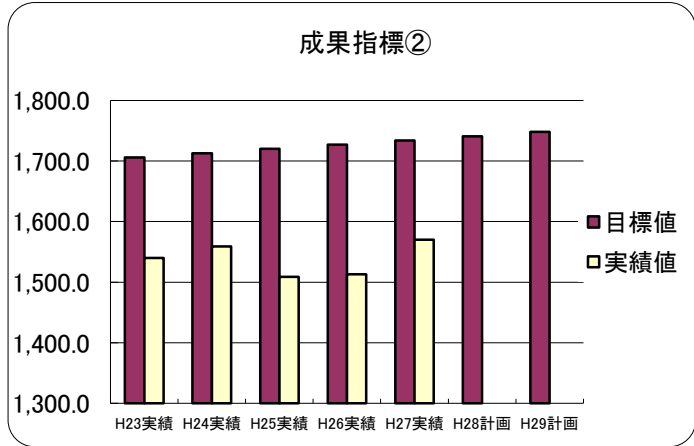
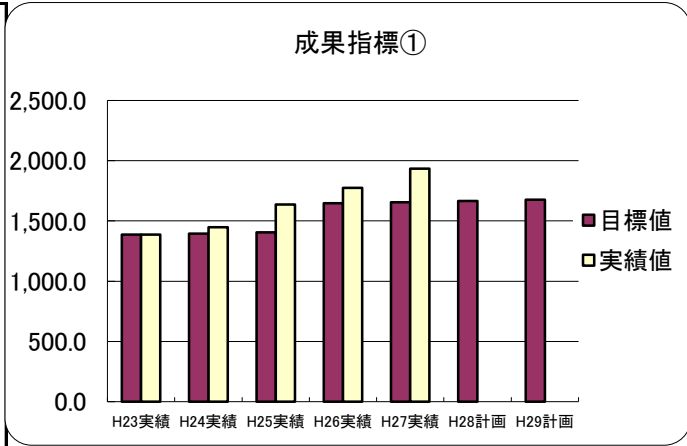
施策目標	
対象 (誰を、何を、どこを)	
市民	
意図 (どのような状態にしたいのか)	
日常的な助け合い、支え合いのしくみづくりを進め、一人ひとりが地域に愛情を持ち、住み慣れた地域で安心して暮らせるようにします。	

3. 市民ニーズ							
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
満足度 (偏差値)		56.9					
重要度 (偏差値)		48.9					

4. 施策にかかるコスト								
	単位	H26決算	H27決算					
コストの内訳	人件費	千円	95,393	105,591				
	事業費		126,344	112,958				
	フルコスト		221,737	218,549				
財源内訳	国庫支出金	千円	342	7,386				
	府支出金		42,813	46,820				
	市債		0	0				
	その他		60,146	60,896				
	一般財源1 (=フルコスト-特定財源)		118,436	103,447				
	一般財源2 (=直接事業費-特定財源)		23,043	-2,144				

5. 施策の成果指標							
① 成果指標 1		小地域ネットワーク活動のグループ年間支援回数					
項目	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28計画	H29計画
目標値	1,386.0	1,396.0	1,406.0	1,646.0	1,656.0	1,666.0	1,676.0
実績値	1,388.0	1,448.0	1,636.0	1,775.0	1,933.0		
達成度	100.14	103.72	116.36	107.84	116.73		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
各地区福祉委員会において実施しているいきいきサロンや世代間交流会、子育てサロンなどのグループ活動の回数を把握することにより、地域住民同士がつながりを持つことができる機会の多少がわかり、また、支援を必要としている人の発見及び支援体制の広がりがわかる。		平成23年度時点で目標値の変更を行っている。その後は、23年度以降毎年目標値を超過している実績から、改めて当初の設定を勘案し、H25の実績をベースに1年で10活動づつ増やしていくことを目標としてH30年度の目標値を1,686回と改めた。H27実績は目標を大きく上回っているが、一時的に手法を変えた地域があったこともあり目標はそのままの様子を見る。		高齢化により対象者が増加する中、社会的孤立や地域の連帯意識の低下が深刻な社会問題となっており、各地区の福祉支援者（団体）が個別訪問を強化し、交流の必要性についての丁寧な説明を継続してきた結果、活動に対し関心を持つ住民が増加し支援活動回数も増加した。また、各地域での開催手法・回数は独自性をもって実施しているが、27年度は一時的に手法を変えて回数が多くなった地域があったことも増加の要因となっている。			
② 成果指標 2		小地域ネットワーク活動のボランティア総登録者数					
項目	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28計画	H29計画
目標値	1,706.0	1,713.0	1,720.0	1,727.0	1,734.0	1,741.0	1,748.0
実績値	1,540.0	1,559.0	1,509.0	1,513.0	1,570.0		
達成度	90.27	91.01	87.73	87.61	90.54		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
ボランティア登録者を把握することにより、住民の地域福祉に対する理解や関心の高さと地域の要支援者に対する支援体制の広がりが把握できる。		過去の実績を基本にして、10年後まで毎年、14地区福祉委員会の半分の支部において、それぞれ1人づつ登録者の増加を目標値として設定した。		社会福祉協議会が中心となり、関係機関や団体、志のある住民に対しボランティアの必要性を説明し、活動への参加要請を継続した結果、若干ではあるが増加した。近年の傾向をみると、参画できる人はほとんどが高齢もしくは高齢にせまった人たちであり、高齢者が高齢者を見守るといった社会構造が常態化してきている。このため目標値の達成には及んでいない。今後は新たな担い手の発掘、特に若年層への働きかけなどの対策が必要である。			
③ 成果指標 3		地域の絆づくり登録制度同意登録者数					
項目	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28計画	H29計画
目標値					2,094.0	2,200.0	2,300.0
実績値					2,094.0		
達成度					100.0		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
地域の絆づくり登録制度への同意登録者が増加することで、地域での要支援者の把握ができ、地域での支え合いにより、災害時のみならず日頃から要支援者へ必要な支援を行うための基盤構築が進んでいくこととなる。		平成27年度の実績をベースとして、毎年概ね100人づつ登録者数が増えていくことを目標として設定した。		地域の絆づくり登録制度への同意登録者が増加することで、地域での要支援者の把握ができ、地域での支え合いにより、災害時のみならず日頃から要支援者へ必要な支援を行うための基盤構築が進んでいくこととなる。			

図表



6. 施策の事後評価

判定項目		評価点	評価理由、今後の方向性等
一次評価 (担当課による評価)	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 3	地域福祉推進のための各種支援活動に対しては住民の理解と関心が徐々に深まってきている一方で、支援する側の体制が対象者の増加に対し微増にとどまっている。支援者の高齢化などによる影響は大きい。新たな若い世代の担い手の確保と育成の部分での対策が必要であることと併せて、今後の住民相互支援精神の高まりに期待したい。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 3	支援を必要としている世帯は増加しており、誰もが安心して暮らしていける社会を形成するには、住民同士のつながりが重要であることへの地域の理解は浸透してきている。また、住民座談会等により、具体的なニーズを把握する場が定着しており、地域での支えあいの基盤づくりのための活動支援への期待は大きい。併せて、災害対策の観点でも地域での助け合いの意識が向上しており、これを機会とした地域福祉推進の機運も高まっている。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 3	支援が必要な人の社会的孤立が問題視されている中、H27年より生活困窮者自立支援法が施行され、地域社会から孤立している生活困窮者の救済支援のための事業が開始された。当市では既にCSW配置事業により、このような問題にも対応している部分もある。また、H29年度からは全国的に地域包括ケアシステムが進められることになっており、今後は、地域福祉を進めるコーディネーターの役割と専門職間の連携が重要となってくる。
	合計点	(10点中) 9点	
	総合評価	A	核家族化や高齢化などにより、社会的孤立や福祉問題の多様化が顕著となる中、地域福祉を推進していくには地域での担い手の育成・確保と専門機関の連携が不可欠であるが、総合的にコーディネートを行うCSWの役割が重要である。CSW活動の活発化と住民の相互扶助精神の高まりを促す取組が一層必要となる。また、平成27年4月施行の地域福祉計画について、関連部署との連携により進捗状況を分析し着実に実行していく。
二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)	A	小地域ネットワーク活動支援者の拡充に努めること。	
三次評価 (理事者による評価)	B	小地域ネットワーク活動支援者の拡充に努めること。	

7. 施策を構成する事務事業							
事務事業			H27年度決算額			H28年度予算	一次評価
予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源			
1	01013900	民生委員児童委員活動事業	2,471	3,465	3,284	3,937	B
2	01014400	戦没者援護事業	3,178	572	484	595	B
3	01014500	ふれあいのまちづくり事業	1,022	11,094	1	11,094	B
4	01014940	コミュニティソーシャルワーカー配置促進事業	1,193	27,500	2,575	27,500	B
5	01015200	共同浴場施設管理事業	1,278	13,975	13,975	12,961	B
6	01015600	地域福祉推進事業	6,640	36,931	32,483	38,045	B
7	01081730	市民後見推進事業	3,319	643	1	600	A
8	01082300	広域福祉共同処理事務事業	85,638	5,288	-61,693	14,292	A
9	01083090	安心生活基盤構築事業	852	13,490	6,746	12,206	B
合計			105,591	112,958	-2,144	121,230	